

# デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社



2021年6月期 第3四半期決算説明資料  
(東証1部：3916)

2021年5月





1. 2021年6月期 第3四半期決算報告

2. 2021年6月期 連結決算業績予想

3. 中期経営計画

4. 参考資料

# 2021年6月期 第3四半期決算報告



# 2021年6月期 第3四半期決算総括（業績）

増収増益、第3四半期累計期間として、過去最高の業績を更新（コロナ禍の影響を受けることを想定した対策を着実に実施した結果、力強い伸びを示す）

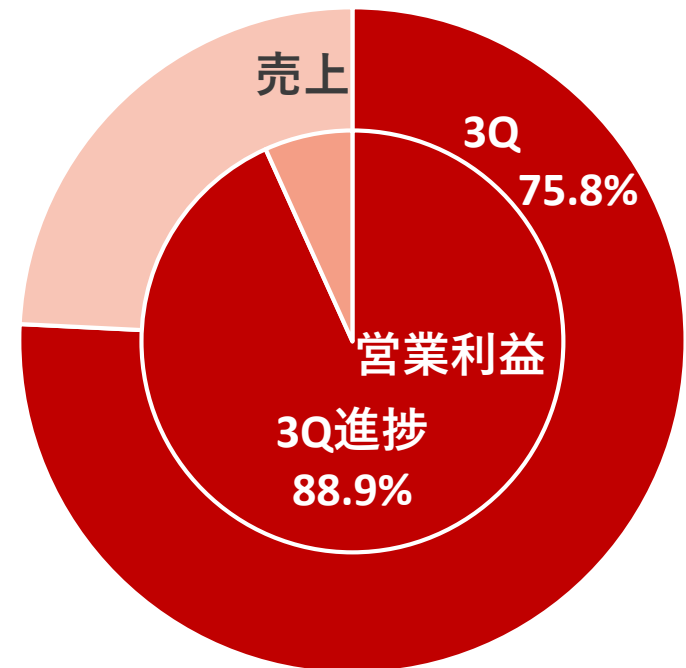
**売上高** : 10,837百万円  
(前期比+6.1%)

**営業利益** : 1,492百万円  
(前期比+25.9%)

**営業利益率** : 13.8%  
(前期比+2.2Point)

## 通期予想進捗率%

売上高（予）： 14,300百万円  
営業利益（予）： 1,680百万円



# 2021年6月期 通期業績の再上方修正 (ご参照：5月14日リリース)

- 前回上方修正時より利益率が改善し、売上は据え置き、利益を更に上方修正
- 更に2円増配し通期で24円(中間10円、期末14円(+2円+2円))を予定

(単位：百万円)	2020/6期 実績	構成 %	2021/6期			構成 %	前年同期比 %
			期初予想	1.26 修正予想	今回 修正予想		
売上高	13,495	100.0%	13,580	14,300	14,300	100.0%	+5.9%
営業利益	1,352	10.0%	1,358	1,600	1,680	11.7%	+24.2%
経常利益	1,357	10.1%	1,358	1,600	1,680	11.7%	+23.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	978	7.2%	942	1,088	1,142	8.0%	+16.7%

## 2021年6月期 第3四半期決算総括（事業）

### コア事業のソフトウェア開発事業が伸長。特に約6割を占めるビジネスソリューション事業が好業績を牽引

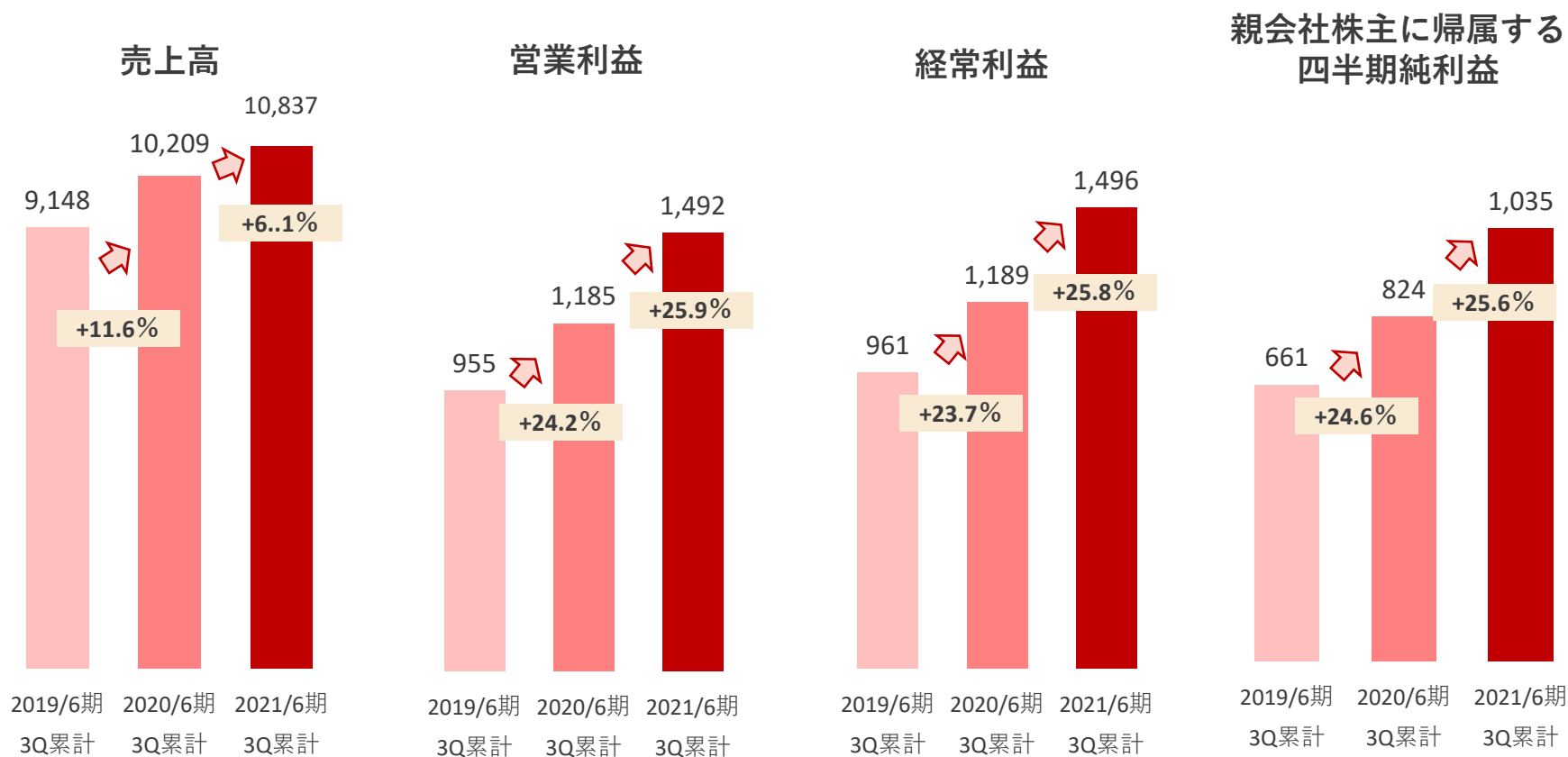
#### ■ソフトウェア開発事業(売上高 前期比+7.5%)

- ・ビジネスソリューション事業(前期比+9.0%)は、事業ポートフォリオの見直しが功を奏し、既存顧客を中心に想定以上に受注が増え、業務システム開発では、ERP関連や医薬系・公共系が伸び、運用サポートでは、新規顧客での伸びも大きく、大幅に増収増益。
- ・エンベデッドソリューション事業(前期比+4.2%)は、自動車関連のコロナ禍の影響を想定した対策を着実に実施した結果、組込みシステム開発では、半導体系、通信系、IoTが伸び、組込みシステム検証では、5G関連が伸び、着実に増収増益。
- ・自社商品事業(前期比+18.0%)は、コロナ禍の商談面の制約はあるものの、xoBlosは順調に伸び、WebARGUSは今まで以上の伸びを示す。また、2Qから販売開始した電子契約クラウドDD-CONNECTについては、住宅建設業を中心に引き合いが順調に増加

- システム販売事業(売上高 前期比▲20.1%)は、IT導入補助金を活用した販売促進に努めるも、前期にあった軽減税率対応の特需が剥落し、売上・利益共に大幅に減少。

# 2021年6月期 第3四半期業績ハイライト

売上高、各段階利益ともに過去最高を更新



# 2021年6月期 第3四半期決算概要

- 業容の質的改善とコロナ禍での費用減が相まって営業利益率が大幅に改善

(単位：百万円)	2020/6期 3Q実績	構成比 %	2021/6期 3Q実績	構成比 %	2021/6期 通期計画	進捗率 %
売上高	10,209	100.0%	10,837	100.0%	14,300	75.8%
売上総利益	2,583	25.3%	2,774	25.6%	-	-
販管費	1,398	13.7%	1,282	11.8%	-	-
営業利益	1,185	11.6%	1,492	13.8%	1,680	88.9%
経常利益	1,189	11.7%	1,496	13.8%	1,680	89.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	824	8.1%	1,035	9.6%	1,142	90.7%

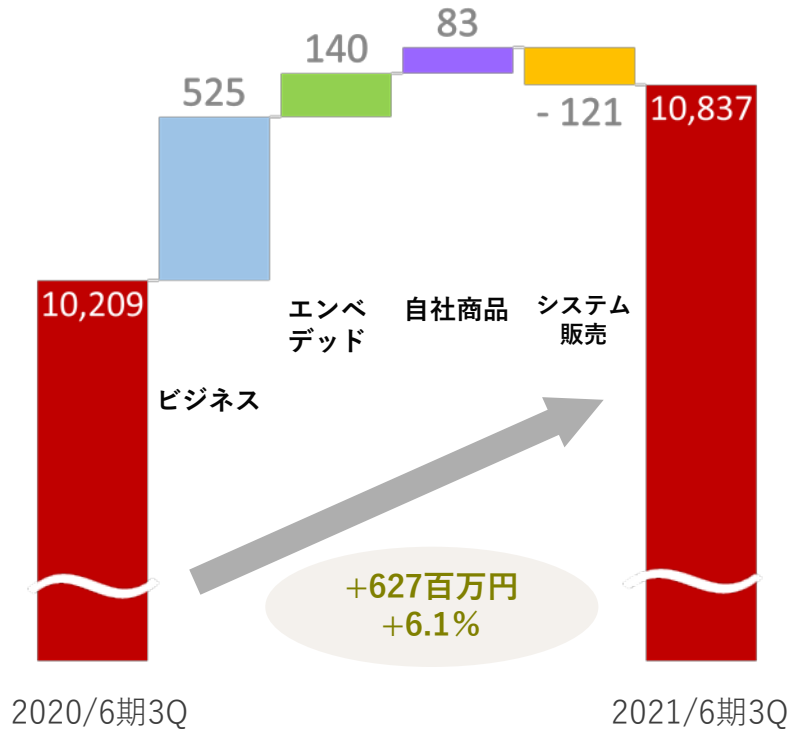


# 売上高、営業利益の増減要因（前期比）

- 売上高はビジネスソリューション事業が好調、自社商品事業も着実に伸長
- コロナ禍の影響による販売管理費の減少もあり、営業利益は着実に伸長

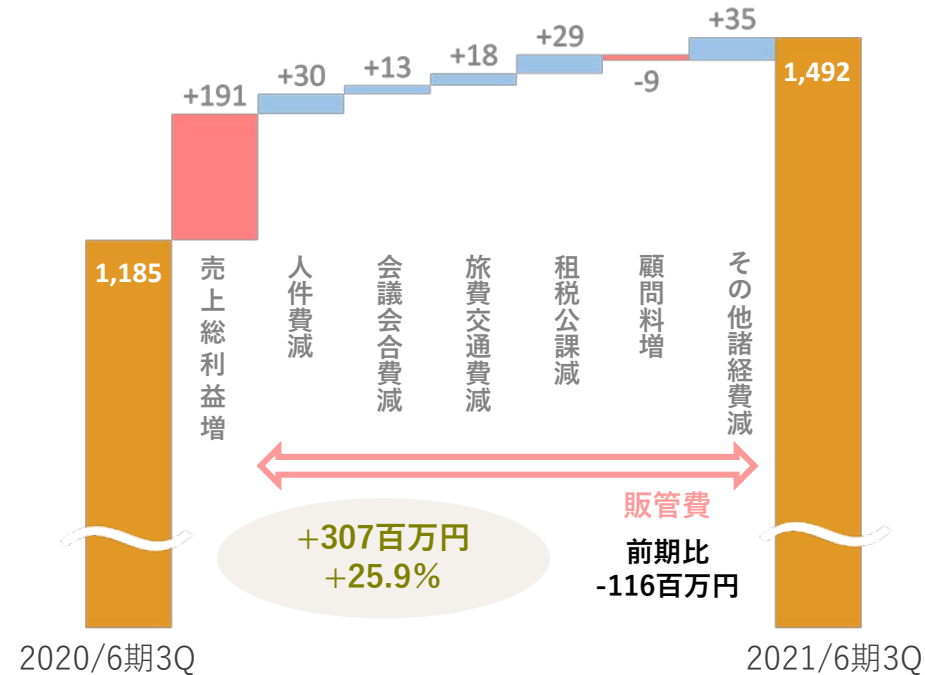
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

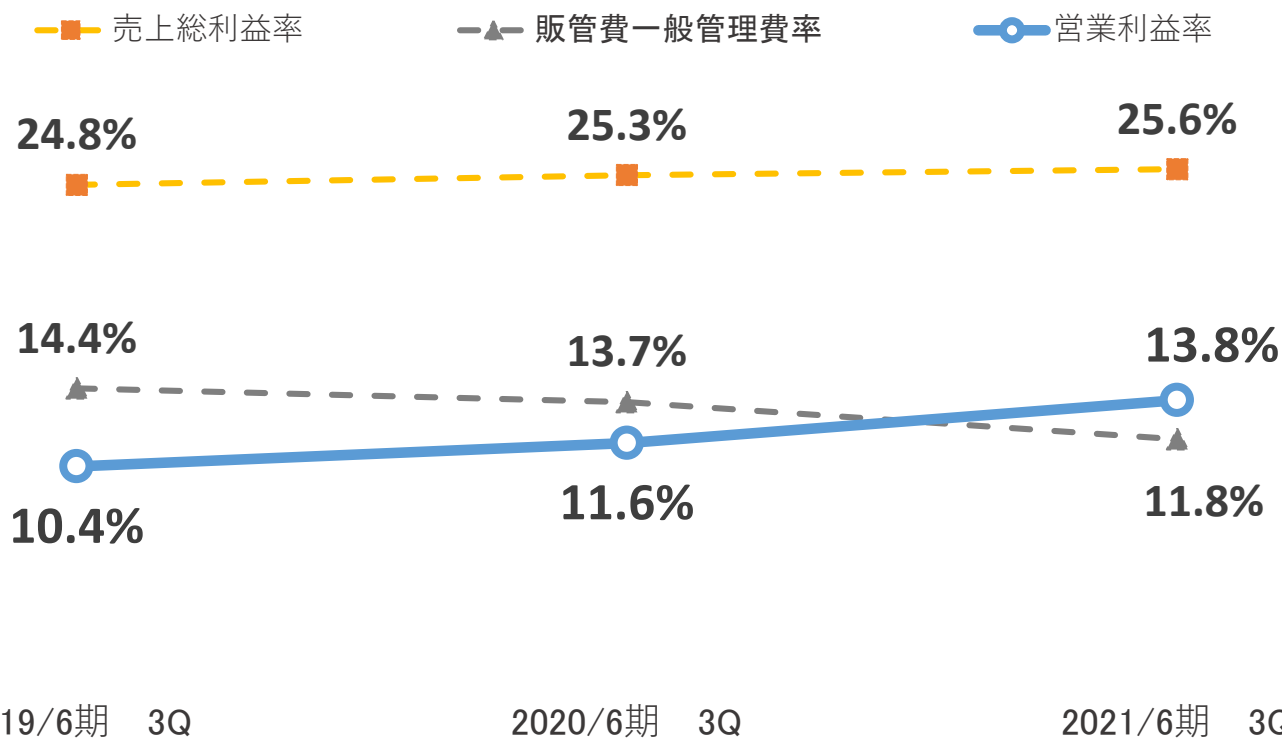
(単位：百万円)



# 営業利益率の推移

■ 今年度の営業利益率の上昇は、業容の質的改善とコロナ禍に伴う費用減が拮抗する

### 各利益&販売費一般管理費の対売上高比率



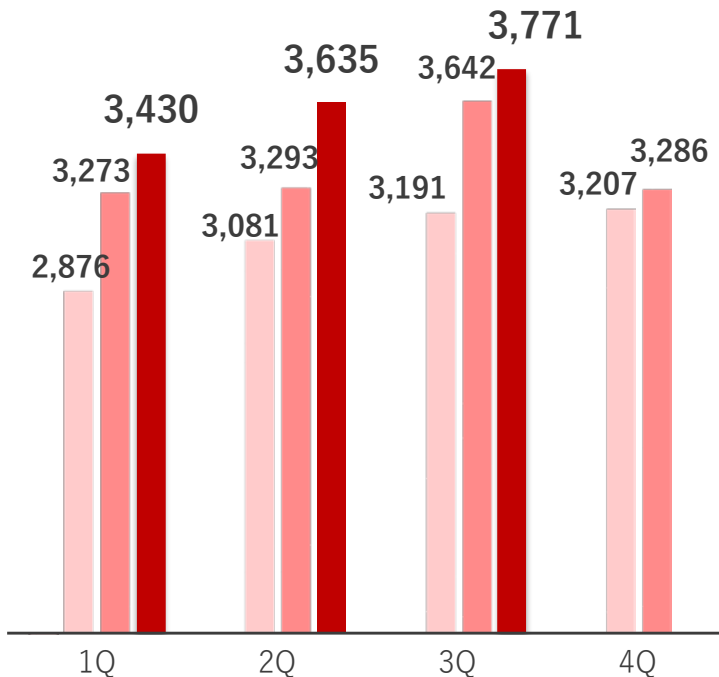
# 四半期会計期間別 売上高 & 営業利益推移

- 第3四半期会計期間において、過去最高の売上高、営業利益を更新
- 当第3四半期会計期間は、売上高・四半期利益ともに過去最高を記録

## 売上高

(単位：百万円)

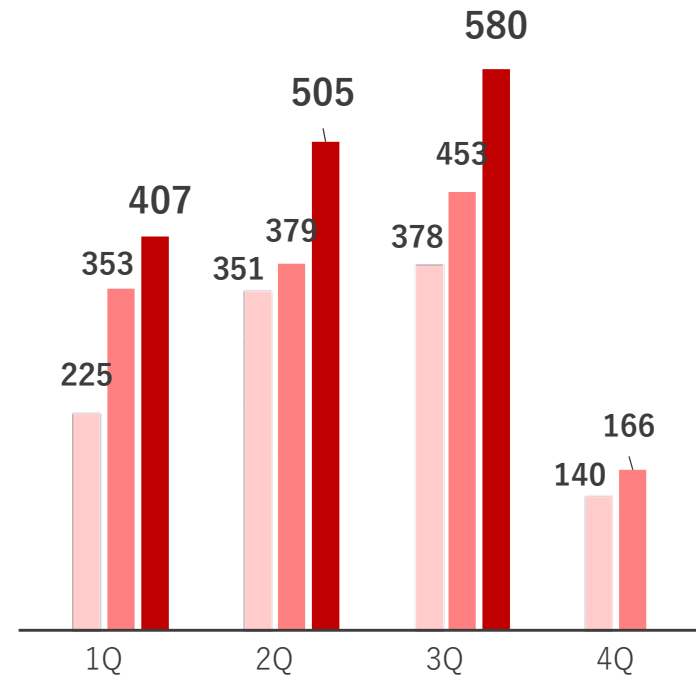
■ 2019/6期 ■ 2020/6期 ■ 2021/6期



## 営業利益

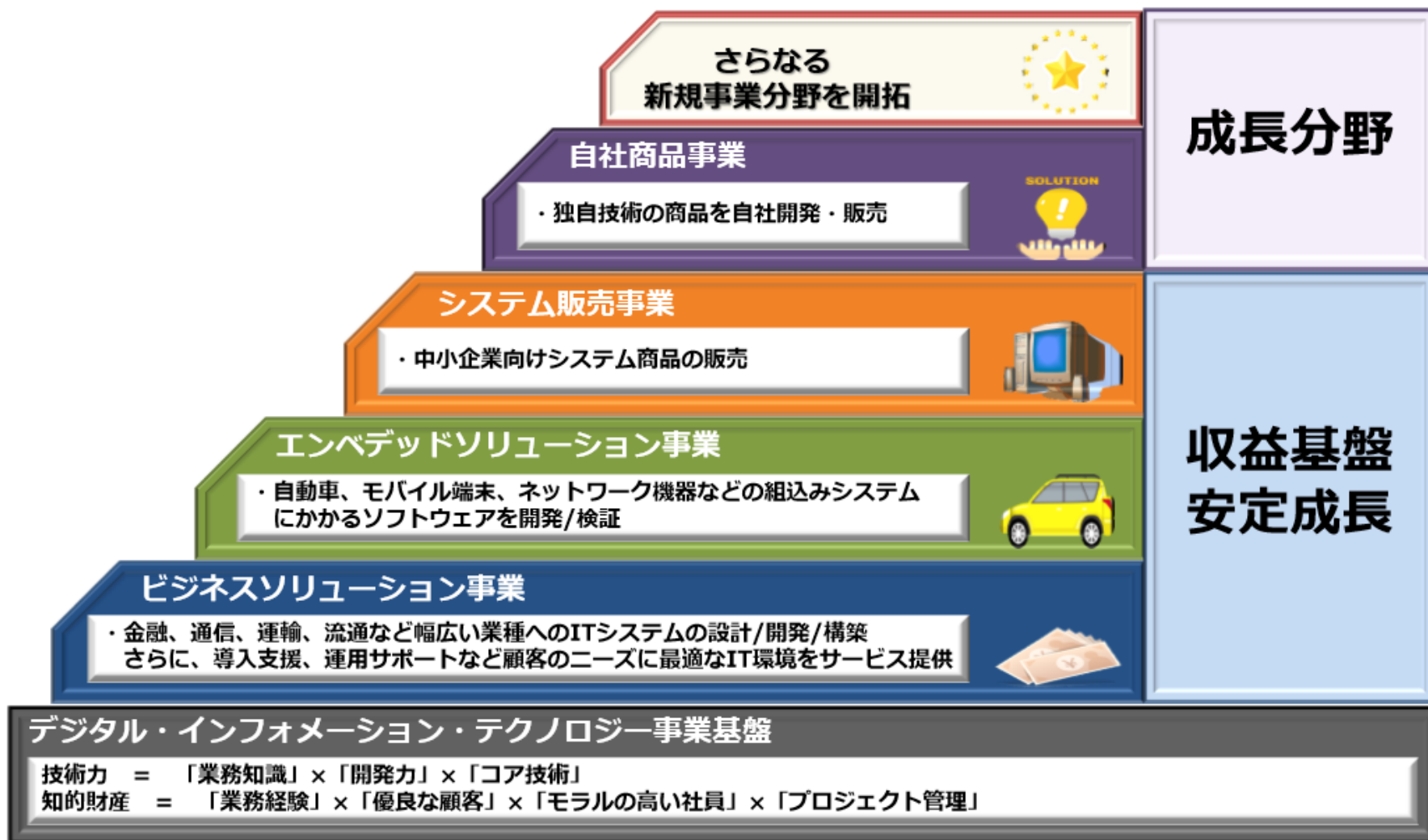
(単位：百万円)

■ 2019/6期 ■ 2020/6期 ■ 2021/6期



\* 営業利益は新入社員の受入れ、期末手当等で第4四半期に減少する季節性あり

# 事業領域：各事業の位置づけ



# 事業セグメントと売上構成

- ビジネスソリューション事業(特に運用サポート事業)、自社商品事業が伸展

事業セグメント	分類	2019/6期3Q累計 売上高 構成比	2020/6期3Q累計 売上高 構成比	2021/6期3Q累計 売上高 構成比
ソフトウェア開発事業		<b>94.4%</b>	<b>94.1%</b>	<b>95.6%</b>
ビジネス ソリューション事業	事業 基盤	<b>58.7%</b>	<b>57.2%</b>	<b>58.7%</b>
うち業務システム開発		63.5%	58.6%	57.1%
// 運用サポート		36.5%	41.4%	42.9%
エンベデッド ソリューション事業	事業 基盤	<b>31.6%</b>	<b>32.4%</b>	<b>31.9%</b>
うち組み込みシステム開発		76.9%	78.4%	78.4%
// 組み込みシステム検証		23.1%	21.6%	21.6%
自社商品事業	成長 分野	<b>4.2%</b>	<b>4.5%</b>	<b>5.0%</b>
システム販売事業	事業 基盤	<b>5.6%</b>	<b>5.9%</b>	<b>4.4%</b>

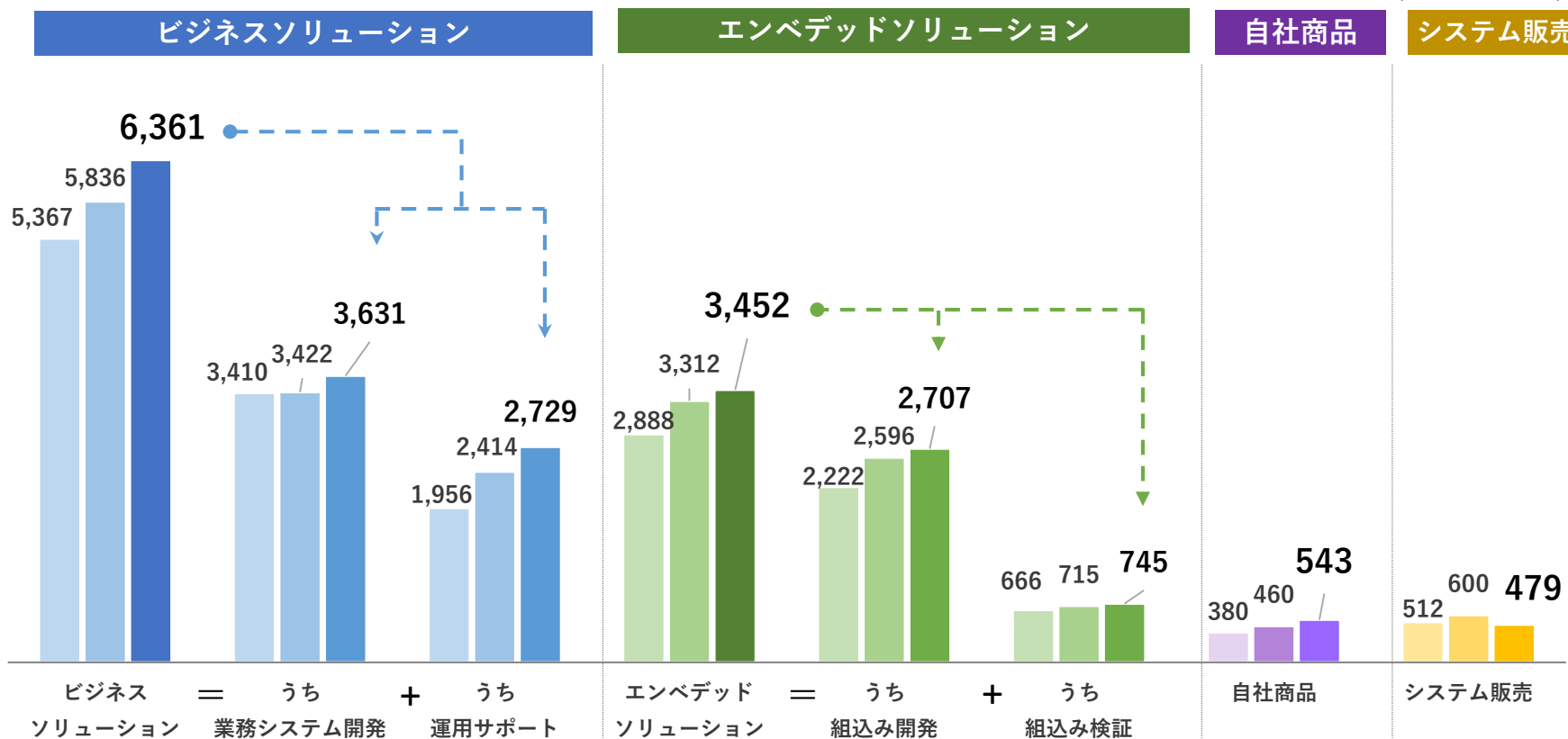
# 事業セグメント別売上高の推移

- エンベデッドソリューション事業は、コロナ禍の影響を跳ね除け、前年を上回る
- システム販売事業は、特需剥落で大幅減

## 事業別売上高の四半期推移

(グラフは左から2019/6期3Q累計、2020/6期3Q累計、2021/6期3Q累計)

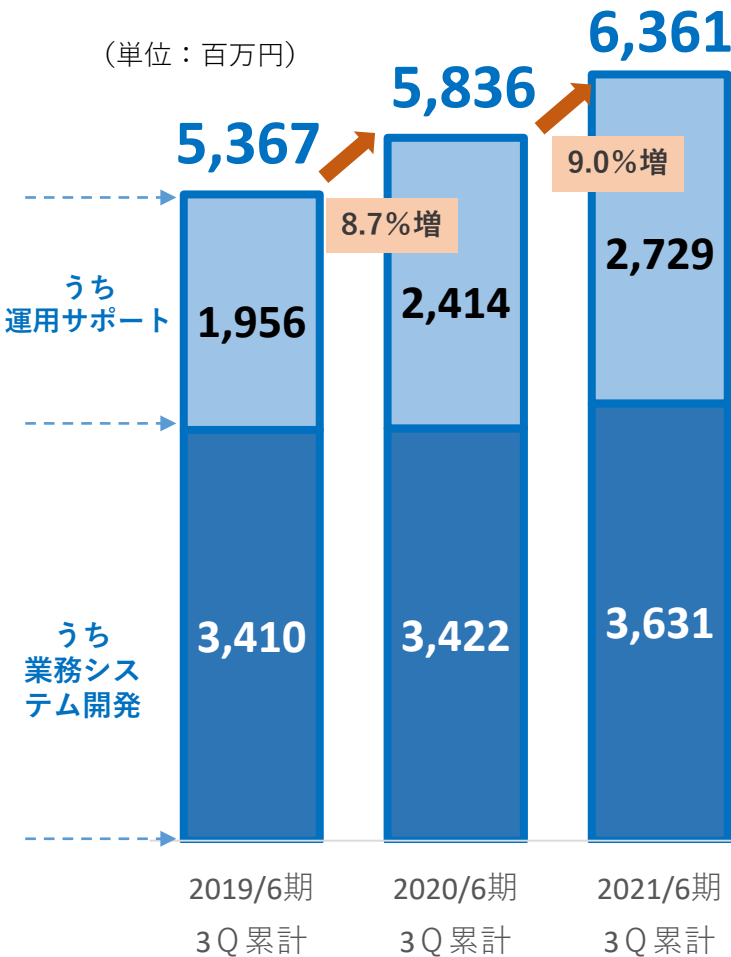
(単位：百万円)



# セグメント別売上高：ビジネスソリューション事業

進捗率75.5%

(単位：百万円)



売上高：6,361百万円  
前期比：+9.0%

事業全体では、既存顧客を中心に引き続き順調に収益性が向上

■ 業務システム開発は、事業ポートフォリオの見直しに伴い、主力の金融系は漸減傾向だが、利益率の高いERP関連(特にSAP)や医薬系、公共系を中心に増加

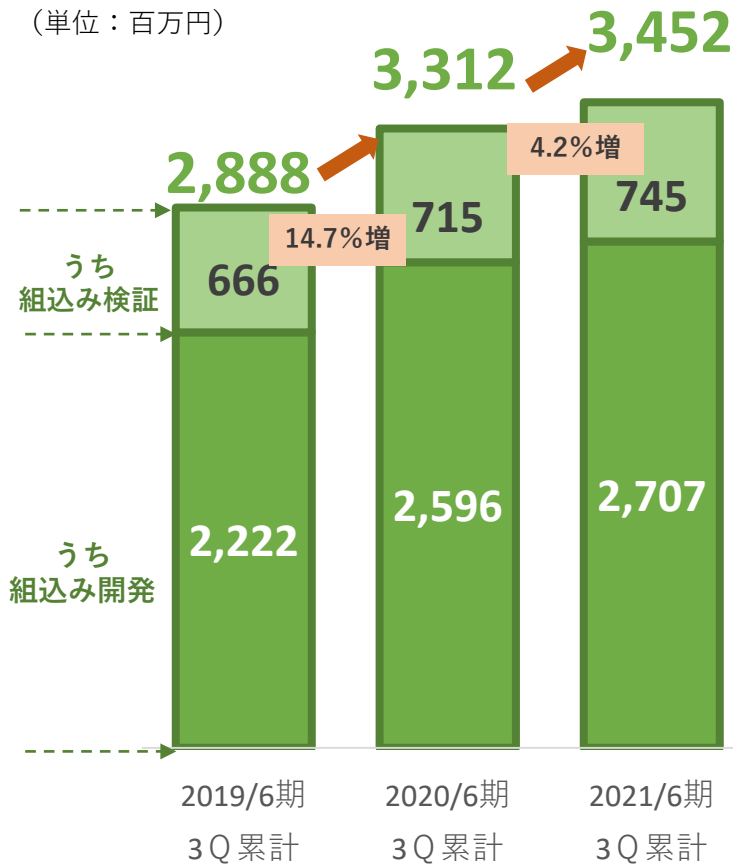
■ 運用サポートは、コロナ禍の影響も小さく、既存大手顧客だけではなく、ここ1、2年開拓した新規顧客との取引規模が拡大し、売上・利益ともに大幅に伸長

# セグメント別売上高：エンベデッドソリューション事業

進捗率76.7%

売上高：3,452百万円  
前期比：+4.2%

(単位：百万円)

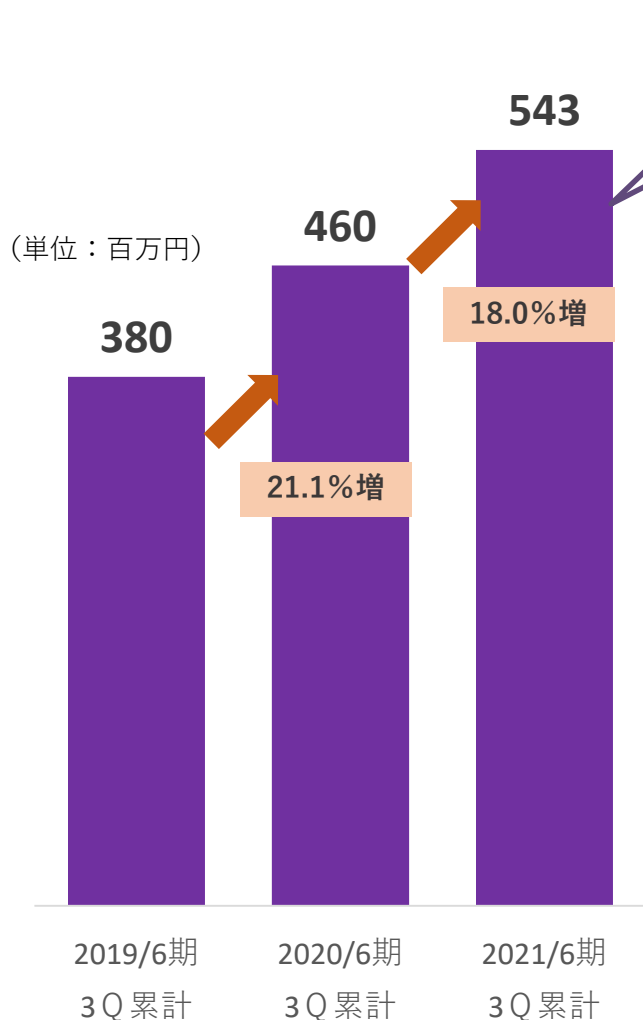


事業全体では、コロナ禍による自動車関連の影響を想定した対策を着実に実施し、前年を上回る結果に

- 組込みシステム開発は、車載系が前年並みに踏み止まることができ、半導体系や通信系が好調、またIoTによる新サービス(特に家電)の拡大などにより、売上・利益ともに前年を上回る
- 組込み検証は、車載系の減少を5G関連(モバイル端末、基地局)がカバーし、売上・利益ともに前年を上回る



# セグメント別売上高：自社商品事業



進捗率73.4%

売上高：543百万円  
前期比：+18.0%

事業全体では、コロナ禍による対面営業に制約がある中でも、前年を上回る結果に

## ■ 【WebARGUS (ウェブアルゴス) :サイバーセキュリティ商品】

大規模顧客が本格的に稼働、トータルセキュリティサービスのラインナップ充実に向け、外部セキュリティ専門会社との協業も継続し、従前以上に拡大

## ■ 【xoBlos (ゾブロス) :業務効率化商品】

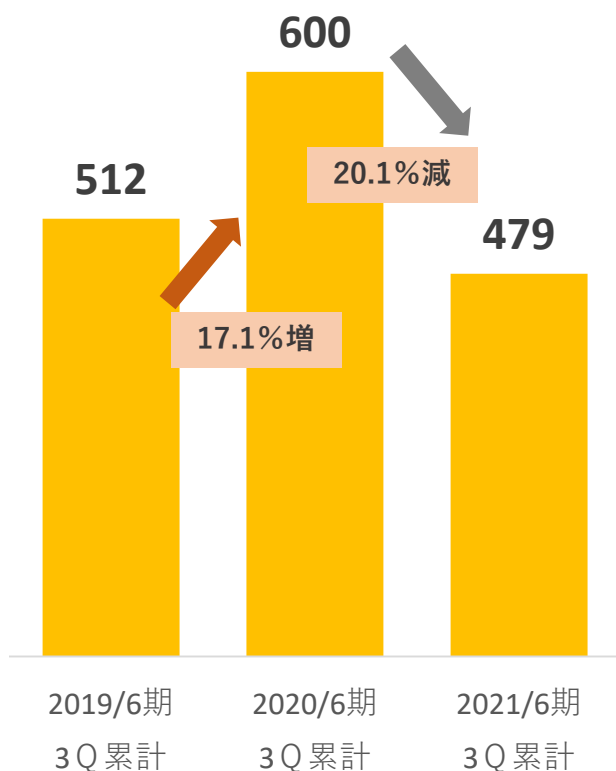
子会社のDITマーケティングサービスと一体となった販売体制を強化、RPA、ERP等の他製品と連携するxoBlosプラスワン構想の推進により、順調に拡大

## ■ 【DD-CONNECT (ディ・ディ・コネクト)】

(電子契約アウトソーシング)  
10月からサービス提供を開始、住宅建設業を中心に商談件数は着実に増加

# セグメント別売上高：システム販売事業

(単位：百万円)



進捗率76.2%

売上高：479百万円  
前期比：-20.1%

事業全体では、前年にあった特需の剥落により、前年を大幅に下回る

- IT導入補助金を活用した販促を行うも、前年の消費税増税に伴う軽減税率対応の特需からの反動により、売上・利益ともに大幅に減少

※ システム販売事業は、カシオ計算機株式会社製中小企業向け業務支援及び経営支援の基幹システムである楽一の販売を主としております

# 貸借対照表

## ■無借金経営、自己資本比率71.1%

(単位：百万円)

	2020/6月末	2021/6月期 3Q	増減
現金・預金	2,399	2,781	382
売掛金	1,905	2,328	423
仕掛品	208	130	△77
その他	76	117	41
流動資産 計	4,590	5,359	769
有形固定資産	120	108	△12
無形固定資産	23	17	△5
投資その他の資産	630	657	27
固定資産 計	774	783	9
資産 合計	5,364	6,143	778

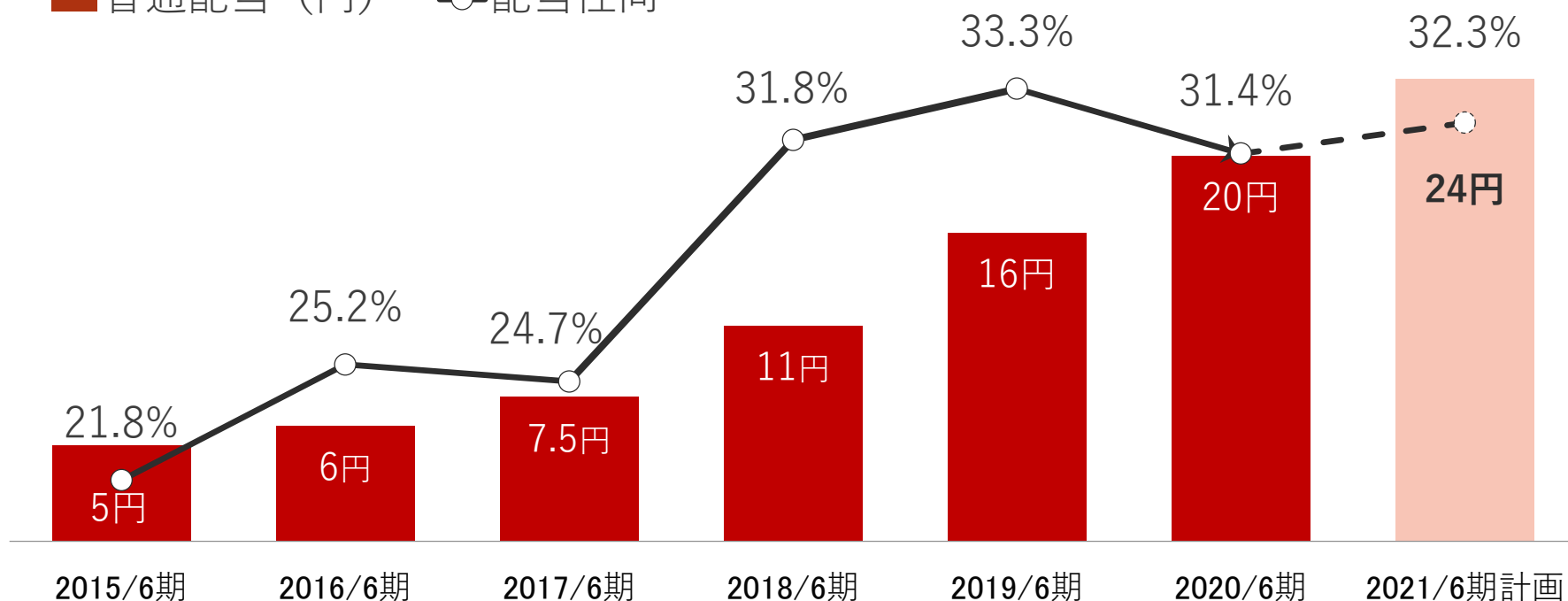
	2020/6月末	2021/6月期 3Q	増減
支払手形・買掛金	417	518	100
短期借入金	—	—	—
その他	1,217	1,176	△41
流動負債 計	1,634	1,694	59
長期借入金	—	—	—
その他	68	81	12
固定負債 計	68	81	12
負債 合計	1,703	1,775	71
資本金	453	453	—
資本剰余金	459	459	—
利益剰余金等	2,747	3,455	707
純資産 合計	3,660	4,367	707
負債・純資産 合計	5,364	6,143	778

# 株主還元（配当+自社株式購入）

■ 配当性向30%以上を目標

■ 4円増配し通期で24円(中間10円、期末14円(+4円))を予定

■ 普通配当（円） ○ 配当性向



- ・ 配当性向 = 配当支払総額 ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益
- ・ 2016年、2018年と株式分割1：2を実施、実施後の一株当たり年間配当金で表示
- ・ 2018/6期、自社株式購入136百万円実施（総配分性向57.5%）

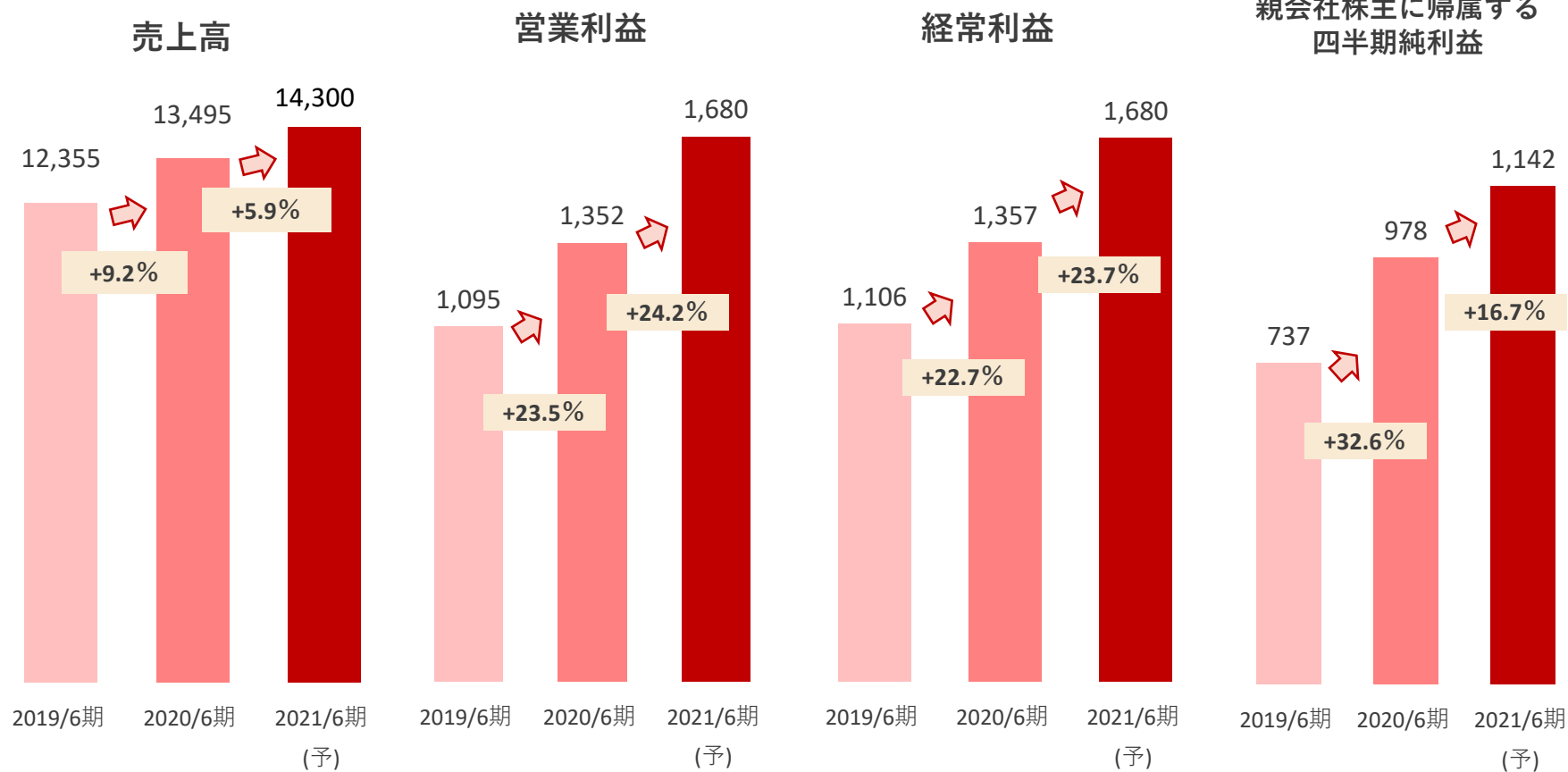
# 2021年6月期 連結決算業績予想



# 2021年6月期 業績予想

## ■ 11期連続の増収・増益を計画

(単位：百万円)



## セグメント別 業績予想

- ソフトウェア開発事業は、前期比+7.2%増を計画、自社商品事業は、21.5%増の成長を目指す

(単位：百万円)

事業セグメント	2020/6期 売上高	2021/6期 売上高予想	増減額	増減%	構成比
<b>ソフトウェア開発事業</b>	12,756	13,670	914	7.2%	95.6%
ビジネスソリューション事業	7,838	8,430	592	7.6%	59.0%
エンベデッドソリューション事業	4,308	4,500	192	4.5%	31.5%
自社商品事業	609	740	131	21.5%	5.2%
<b>システム販売事業</b>	739	630	-109	-14.7%	4.4%
<b>合計</b>	13,495	14,300	805	5.9%	

# 中期経営計画



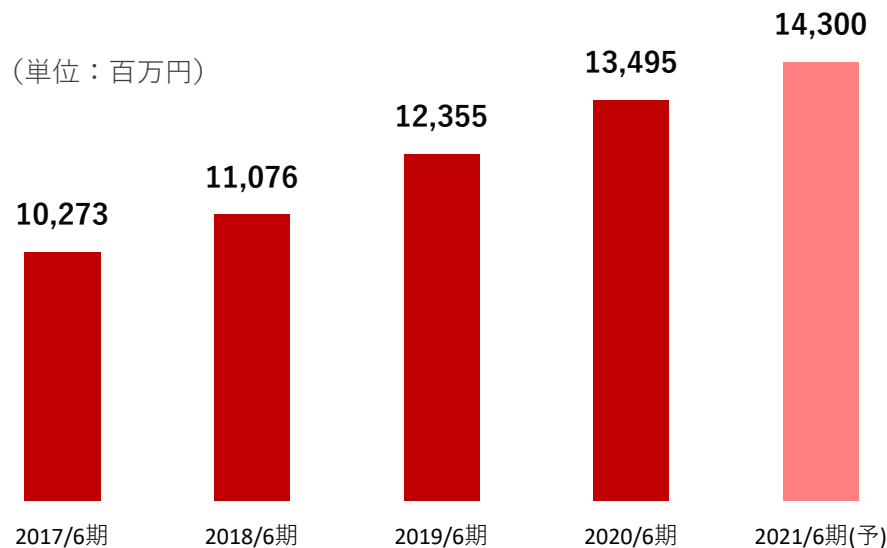


# 中期経営目標：「トリプル10」の達成

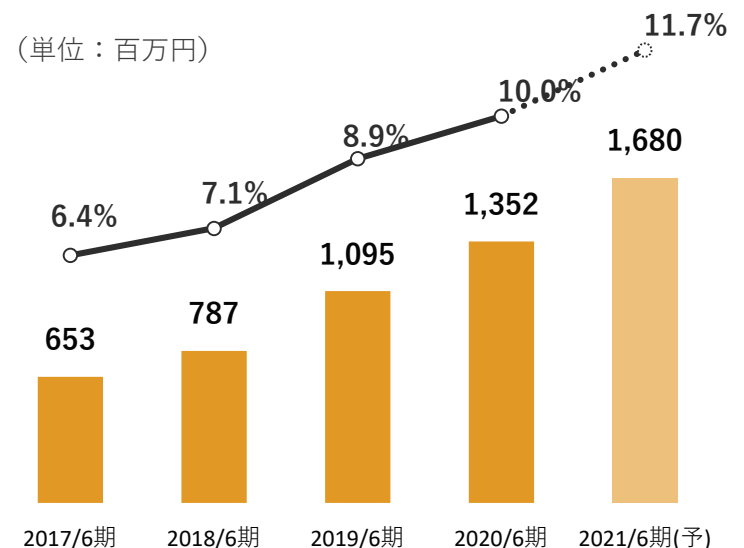
■ 2017/6期スタートの中期経営目標：5年以内のトリプル10を達成！

<b>中期経営目標</b> 5年以内に トリプル10を目指す	売上高	100億円（2017/6期） <b>達成！</b>
	営業利益	10億円（2019/6期） <b>達成！</b>
	営業利益率	10%（2021/6期） <b>前倒達成！</b>

売上高



営業利益 — 営業利益率



## 新たな長期ビジョンを策定中

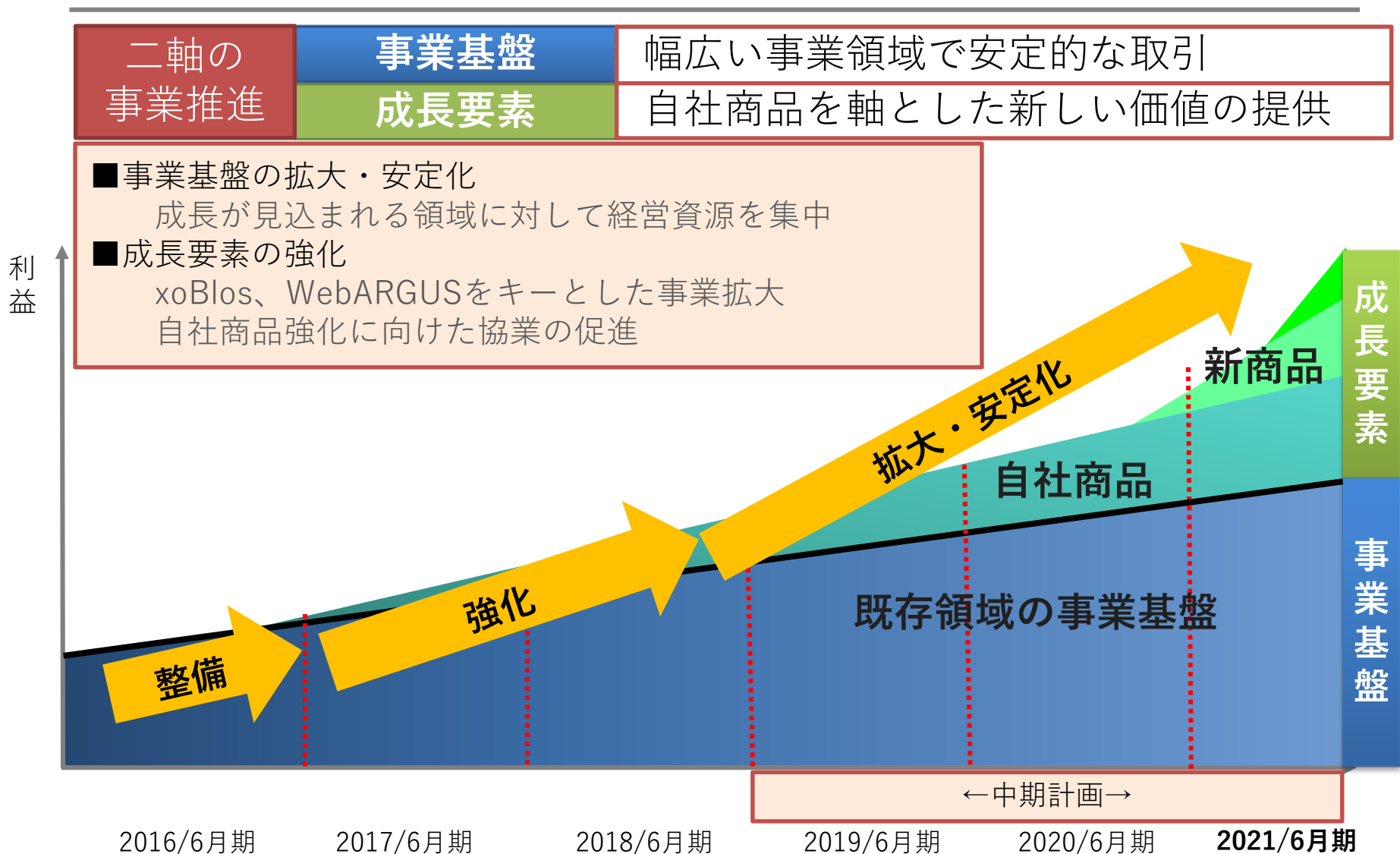
---

中期経営目標の前倒しでの達成、DXの加速、2025年の崖、コロナ禍によるニューノーマルな社会の到来等、社内外の変化に対応した長期ビジョンを現在策定中です。

当社の方向性を定め、継続して成長できるように取り組んでまいります。



# 中長期的成長モデル



# 企業価値拡大に向けて

- 三位一体で企業価値の拡大を目指します！

**自立的成長**

オーガニックグロース

**企業価値の拡大**

成長投資・株主還元！

**協業・提携**

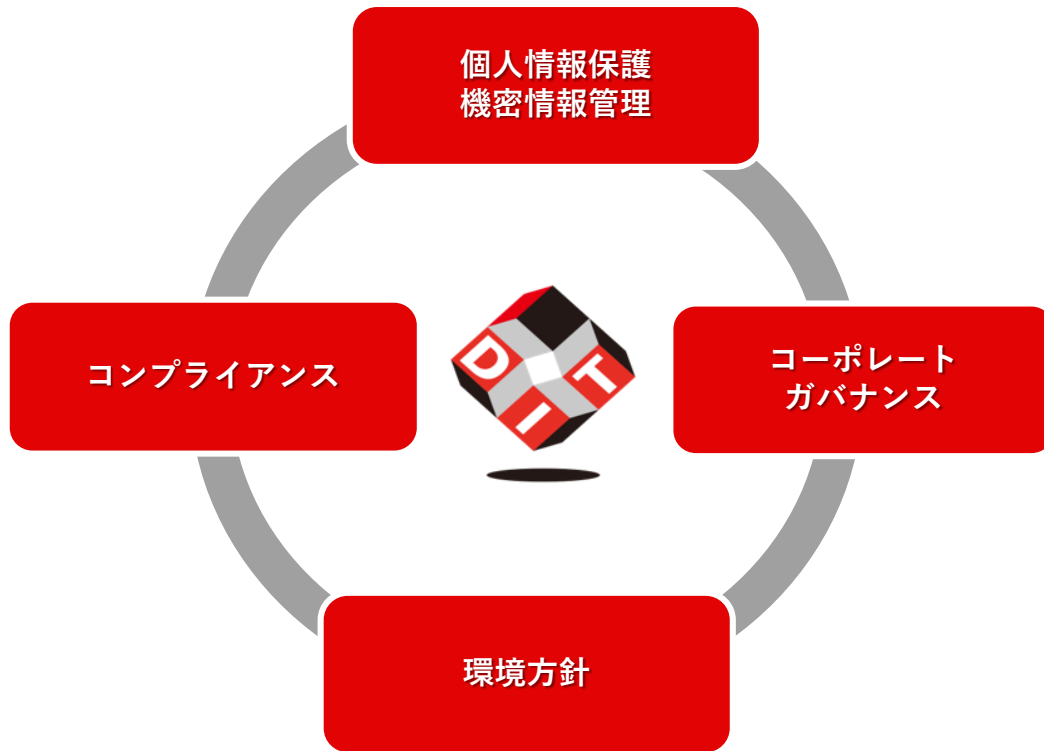
コンプリメント(補完)

**M & A**

シナジー

# CSRへの取組み

- ステークホルダーに信頼され、選ばれるDITブランドを構築してまいります。



新たにバスケットボールチーム川崎ブレイブサンダースのスポンサーになりました。



## 参考資料

# 会社概要

商号: デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社  
Digital Information Technologies Corporation

設立: 2002年1月4日

事業内容: 業務系システム開発、組込系システムの開発及び検証、  
システム運用サービス、自社開発ソフトウェア販売及び  
システム販売事業

本社所在地: 東京都中央区八丁堀4-5-4 FORECAST桜橋5階

資本金: 453,156千円 (2020年6月末)

決算期: 6月30日

従業員数 1,056名(単体982名) (2020年6月末)

役員: 代表取締役社長 市川 聡  
取締役会長 市川 憲和  
他社内取締役 4名、社外取締役 3名  
常勤監査役 1名、社外監査役 2名

グループ会社: DITマーケティングサービス株式会社、DIT America,LLC.



代表取締役社長 市川 聡

2004年3月 当社入社  
2007年7月 執行役員経営企画本部経営企画部長  
2010年7月 執行役員事業本部部長  
2012年9月 取締役執行役員経営企画部長兼商品  
企画開発部長  
2015年7月 常務取締役事業本部部長  
2016年7月 代表取締役専務執行役員  
2018年7月 代表取締役社長

# 国内外の開発拠点と社員数

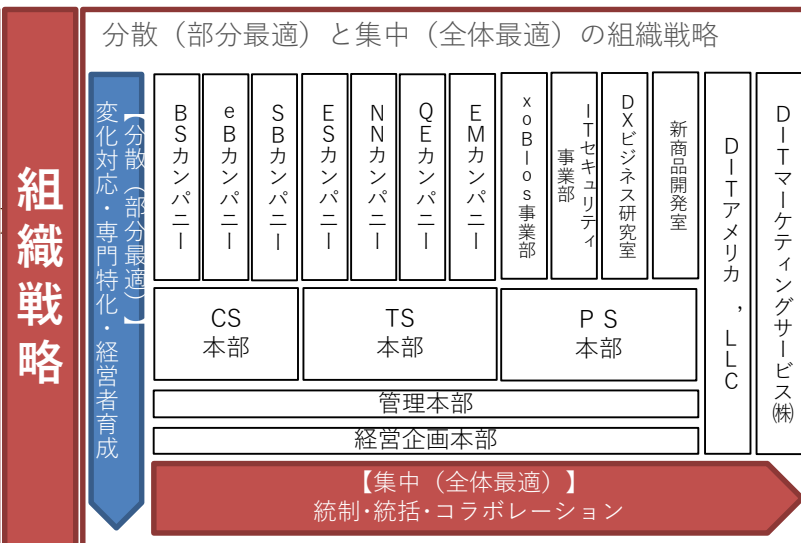
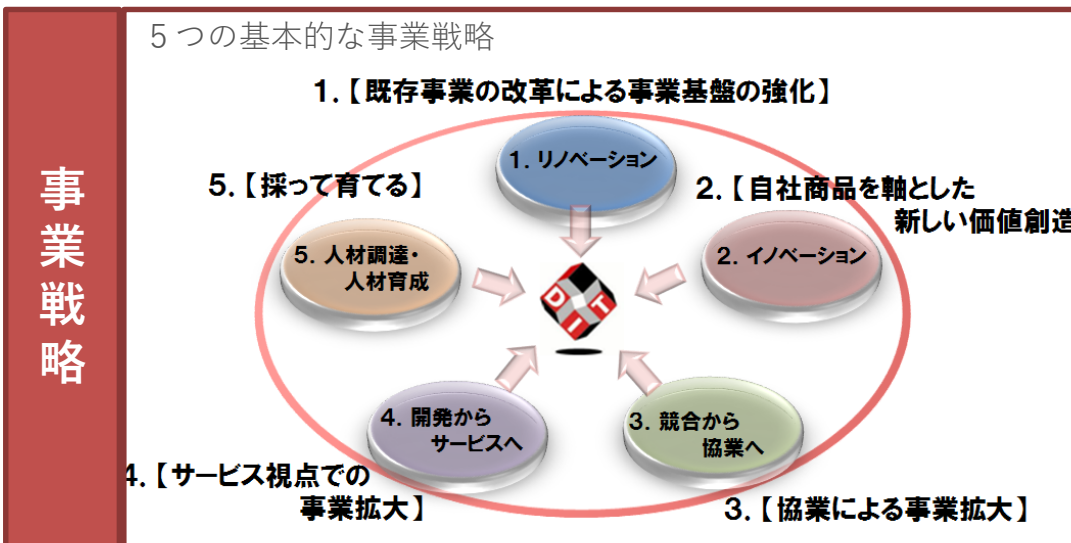




# 企業理念

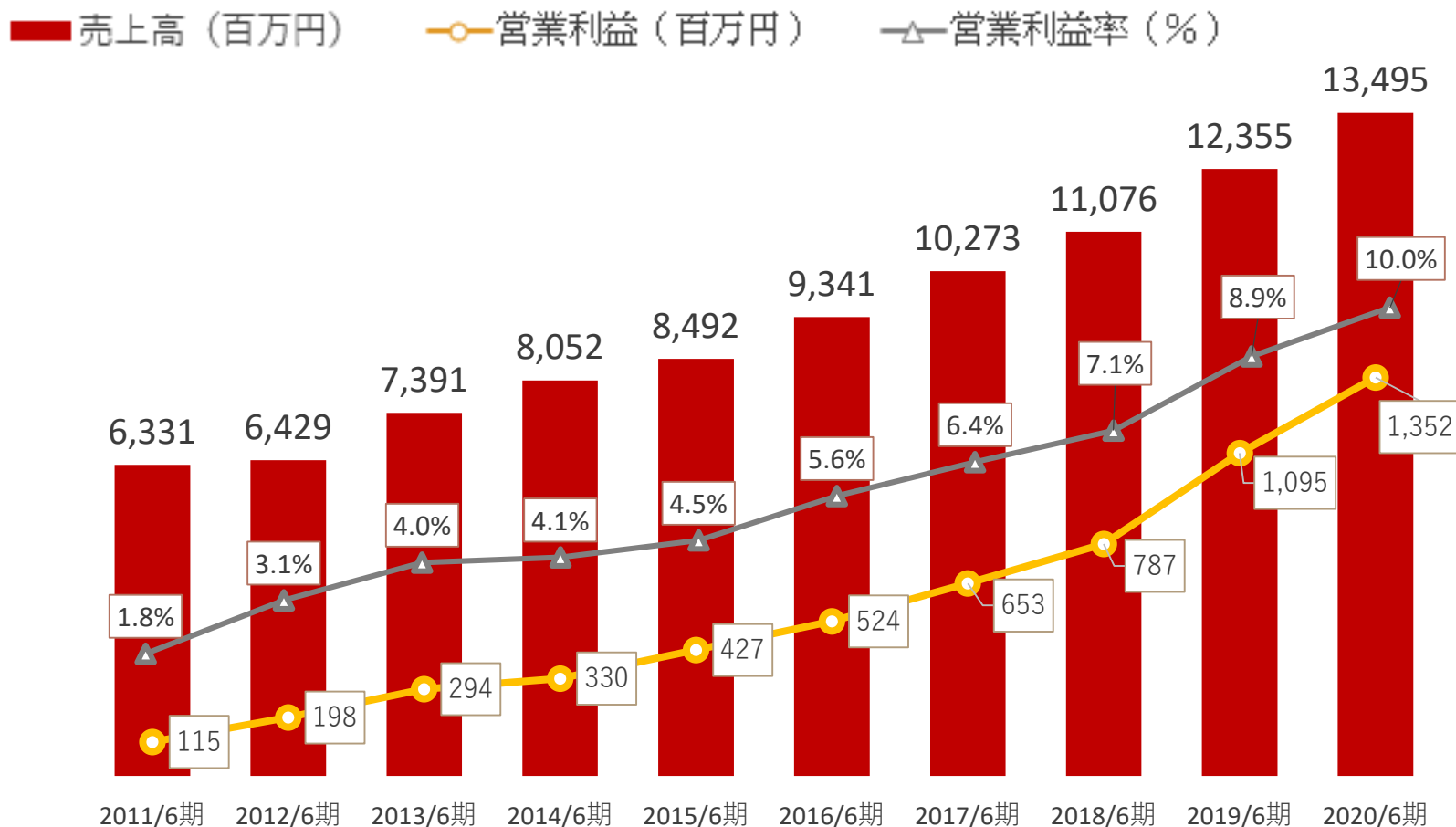
企業理念	全体	顧客起点	経営理念	社員の生活を守り、 且つ社会に貢献する
	会社	育成、コミュニケーション		
	個人	付加価値向上、目的目標をもつ、熱い情熱をもつ		

経営方針	付加価値の追求と変化対応への取り組みから、 経営の安定成長を目指す
------	--------------------------------------



# 業績推移

## 10期連続、増収・増益



# 当社の強みと基本戦略

---

## 当社の強み

- 業務システムの開発・運用、組込みシステムの開発・検証と事業領域が広い。
- 優良顧客から評価される業務知識、技術力、価格競争力がある。
- 顧客との信頼関係に基づく長期安定ビジネスが主で、事業基盤が安定している。
- 独自性があり、市場拡大が期待できる自社商品を有する。



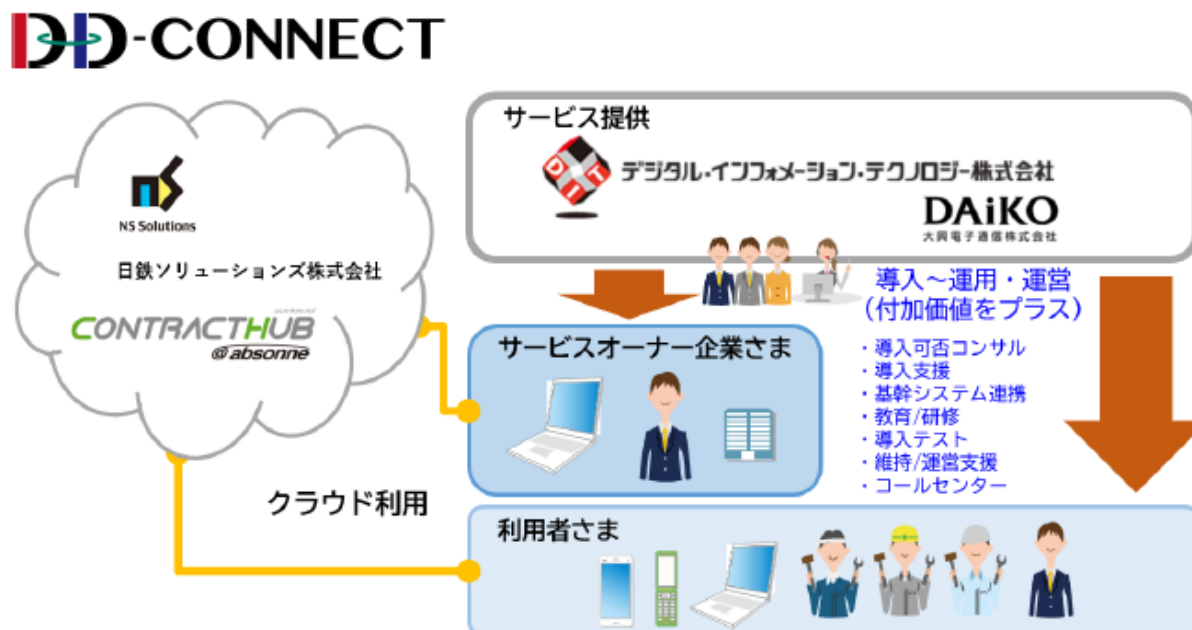
## 基本戦略

- 成長戦略：2軸の事業推進（既存事業の改革による事業基盤の拡大・安定化と成長要素である自社商品事業の強化）を通じて成長し続けること。
- 企業総合力強化：技術力、付加価値等の総合力を押し上げ、一人当たりの利益をアップさせること。

# 自社商品事業：「DD-CONNECT」販売開始

## DXの進展とニューノーマル社会への対応に向け、電子契約のアウトソーシングサービス「DD-CONNECT(ディ・ディ・コネクト)」の提供を開始

当社（DIT）と大興電子通信株式会社（DAIKO）は、日鉄ソリューションズ株式会社（NSSOL）の電子契約サービス「CONTRACTHUB（コントラクトハブ）@absonne（アブソンヌ）」のアウトソーシング型サービスとして「DD-CONNECT」を2020年10月から提供開始しました。DIT、DAIKO、NSSOLは、付加価値の高い電子契約サービスを幅広く提供し、3年間で100社導入を目指します



## JPX日経中小型株指数構成銘柄への選定

---

東京証券取引所及び日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経中小型株指数」の2020年度構成銘柄に当社が選定されました。\*



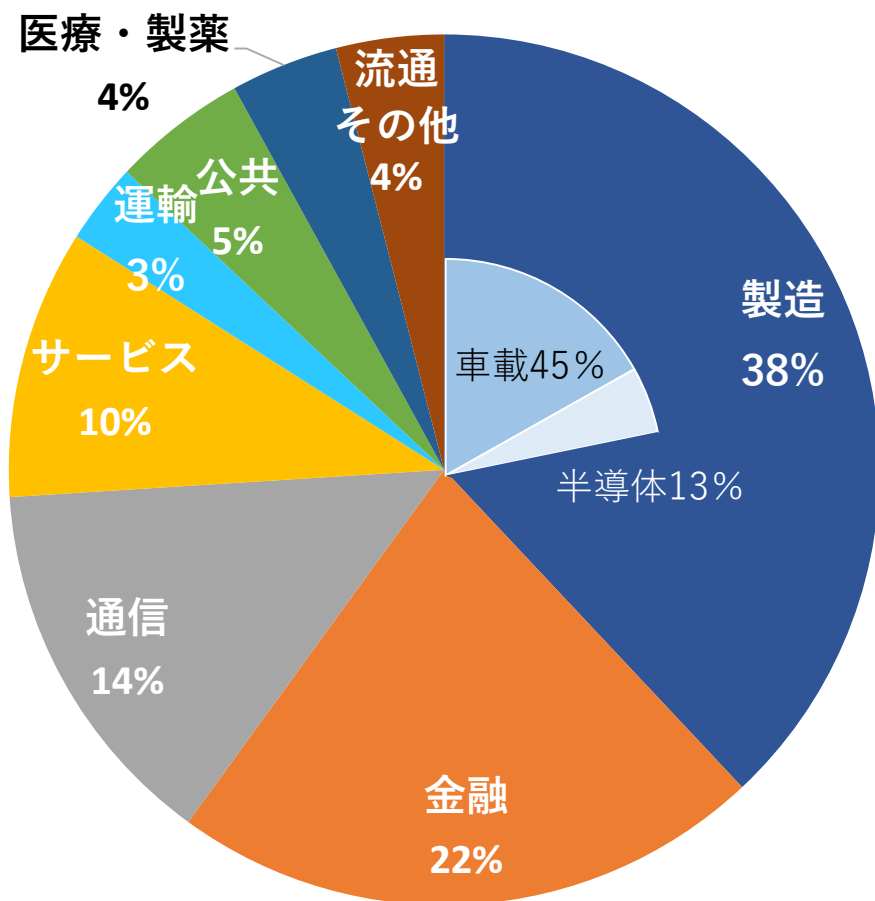
# JPX-NIKKEI Mid Small

今後もステークホルダーの皆様のご期待に添うべく、選定の趣旨に則り、持続的な企業価値の向上と株主を意識した企業経営に努めてまいります。

\*同指数は2020年11月30日から2021年8月30日まで適用

# 顧客基盤

## 業種別の売上高構成比



## ■ D I Tグループの取引先は 約2,700社

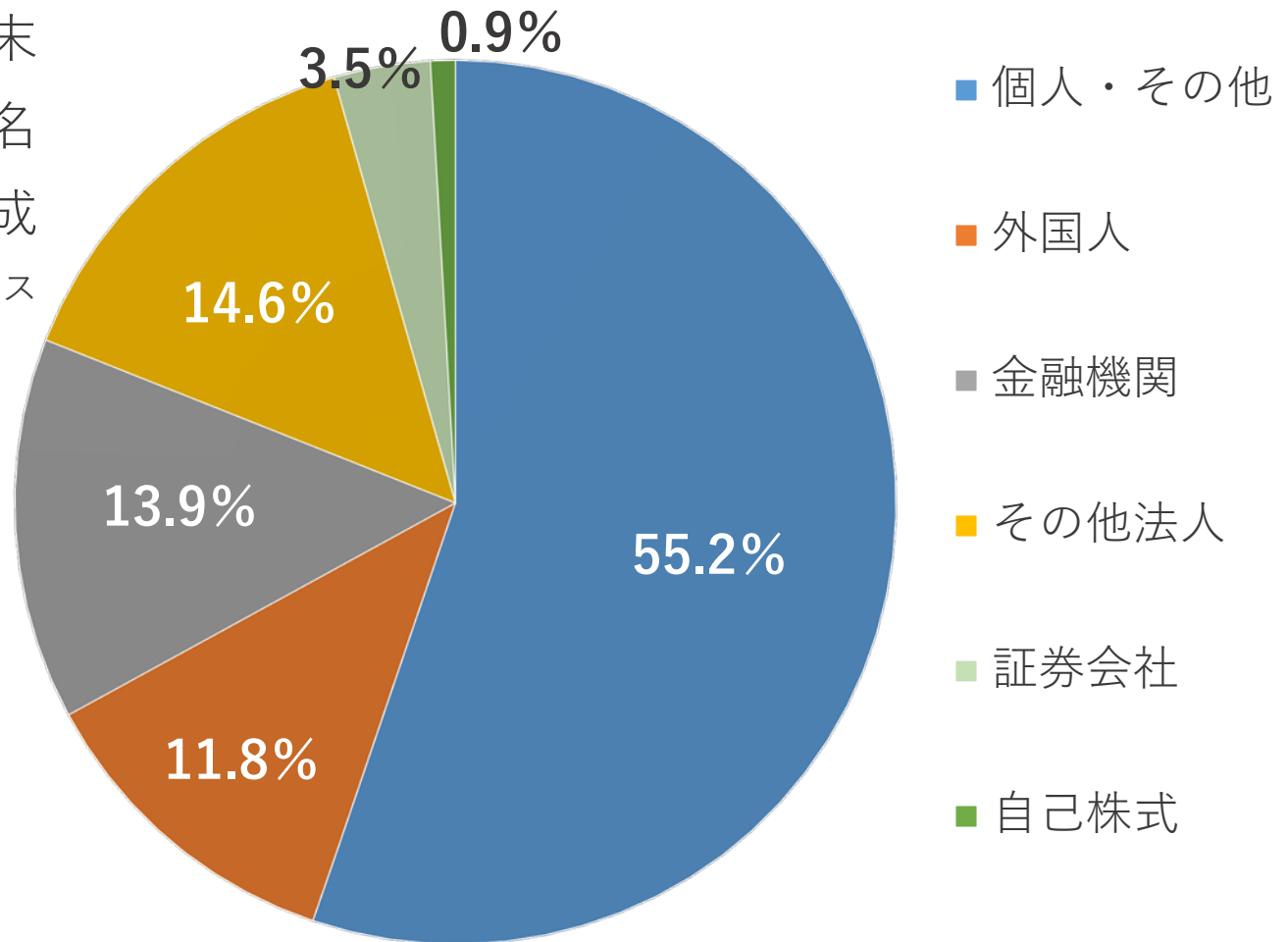
- ・ソフトウェア開発事業は上場企業及びその関連会社、システム販売事業は中小企業が主

## ■ ソフトウェア開発事業の業種別売上高構成（左図）

- ・情報システム子会社を含めたエンドユーザー売上比率は80%

# 株主構成

2020年12月末  
株主数5,877名  
株主構成  
\*グラフは保有数ベース





## お問合せ先：

経営企画本部 I R部 榎本

TEL: 03-6311-6532 FAX: 03-6311-6521

E-mail: [ir\\_info@ditgroup.jp](mailto:ir_info@ditgroup.jp)

- この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクは不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。